

福岡県内市町村における社会教育行政に関する調査報告

I 調査の概要

1 調査の目的

市町村における生涯学習・社会教育推進上の課題を明らかにする。

2 調査の対象

県内市町村教育委員会

3 調査の方法

(1) 調査票

別紙参照

(2) 調査票の配布

県内市町村教育委員会生涯学習・社会教育主管課に郵送で配布

(3) 調査票の回収

県教育庁教育企画部生涯学習課へFAXで送付

4 調査の期間

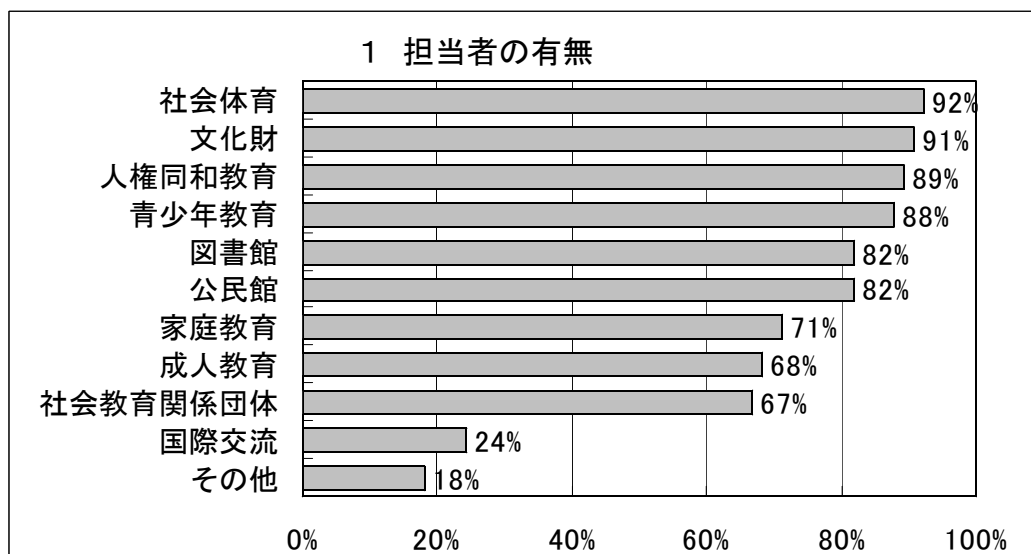
平成18年12月18日(月)～27日(水)

5 調査の企画・実施

県教育庁教育企画部生涯学習課

II 調査の結果

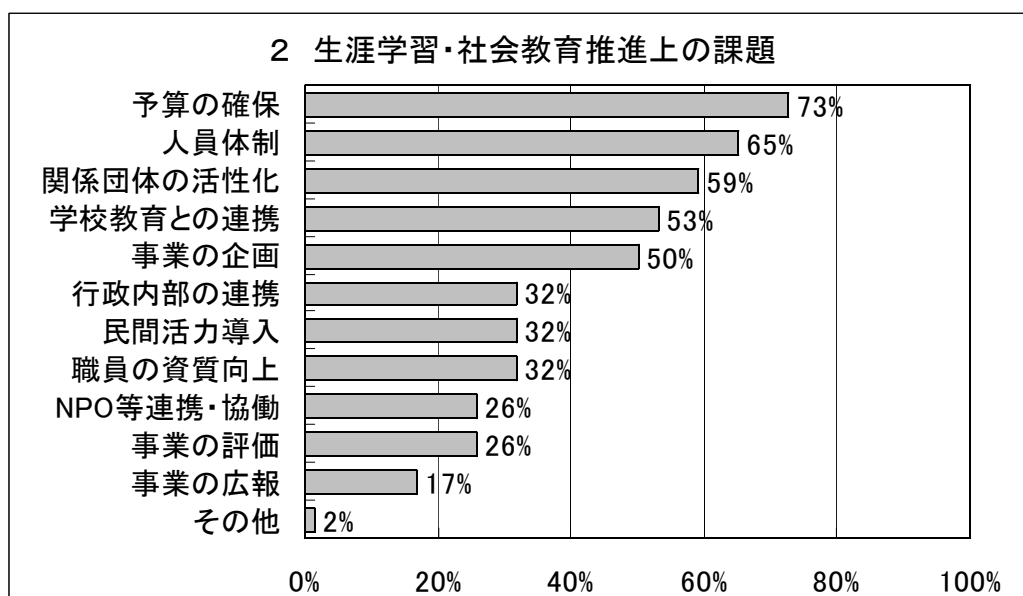
1 貴市町村教育委員会では、次の項目の担当者が配置されていますか。(複数回答可)



その他

- 人員が少ないため係全体で取り組んでいる
- 広域的社会教育振興業務
- 社会教育主事
- 文化振興財団の指導
- 古墳公園建設準備
- 文化・文化施設

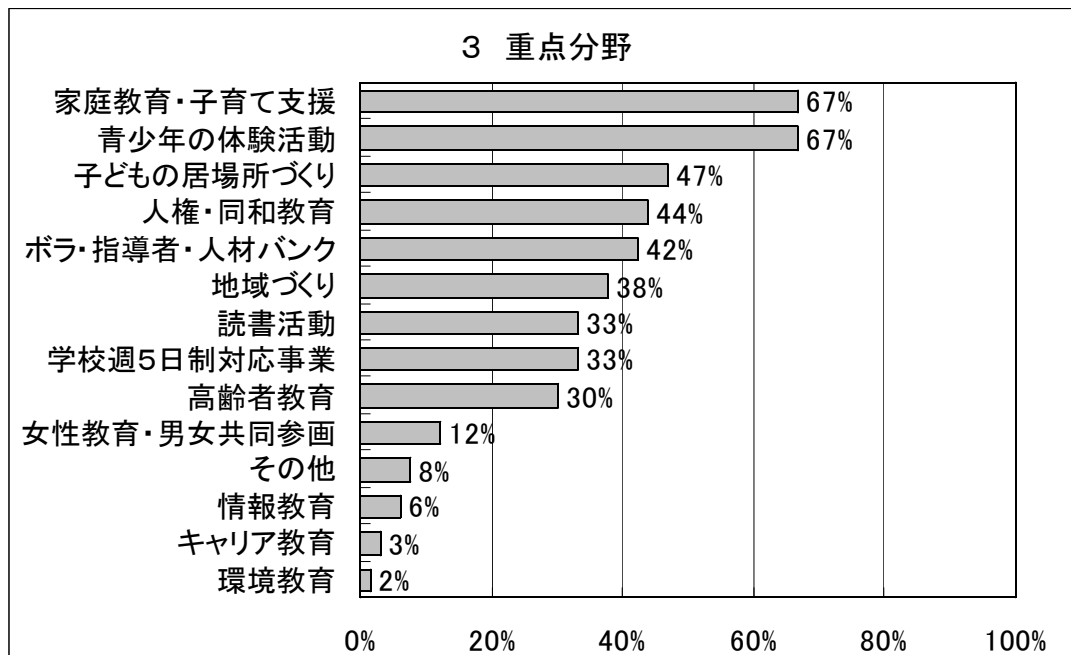
2 貴市町村教育委員会における生涯学習・社会教育推進上の課題は何ですか。



その他

- 機構改革 (来年3月予定)
- 社会教育団体の自主運営

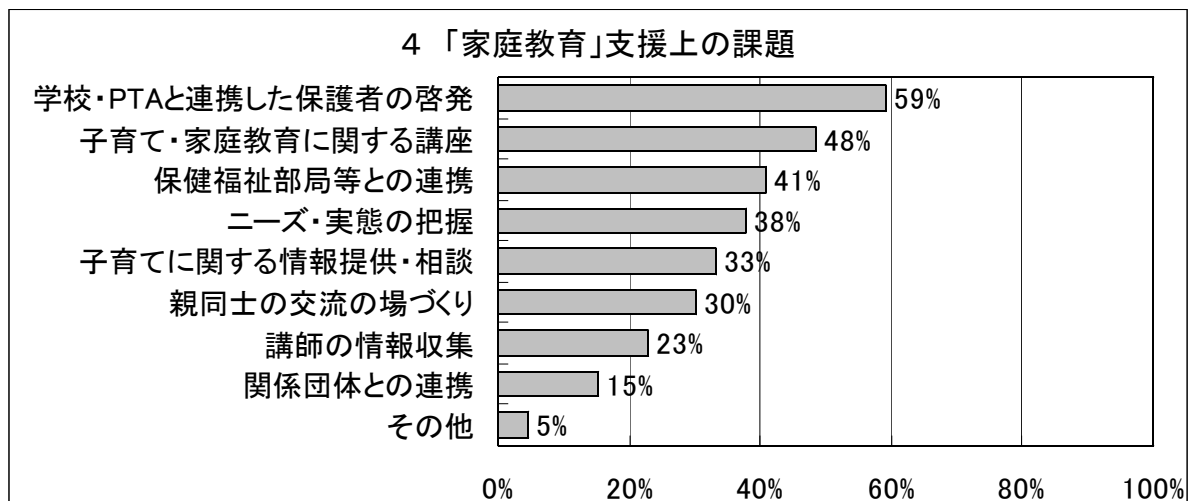
- ③ 現在（または今後）、貴市町村教育委員会で重点的に取り組んでいる（予定している）分野は何ですか。（複数回答可）



その他

- 非行防止活動の推進
- 道徳教育の推進
- 生涯スポーツの推進

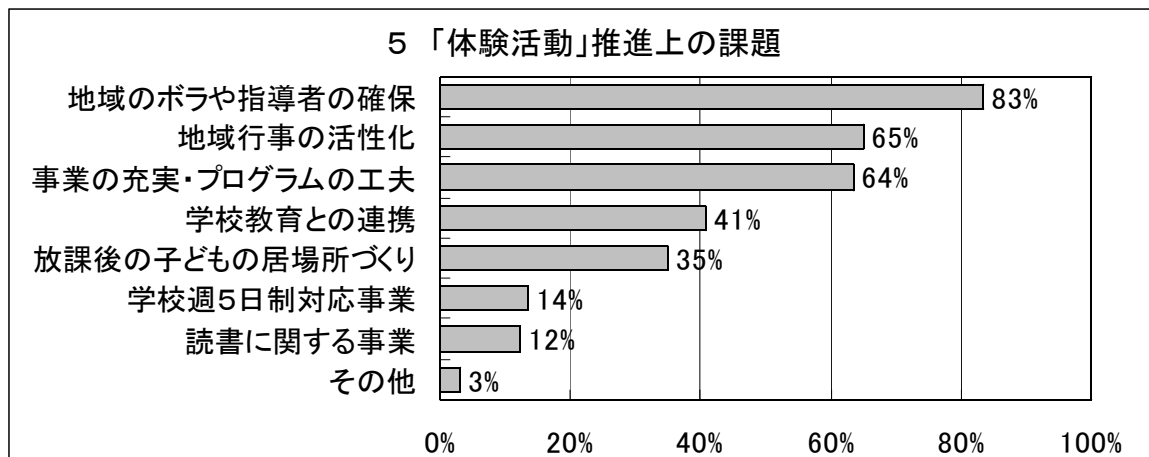
- ④ 貴市町村教育委員会が「家庭教育」を支援する上での課題は何ですか。（複数回答可）



その他

- 早寝・早起き・朝ごはんの推進等、家庭生活の見直し
- メディア規制

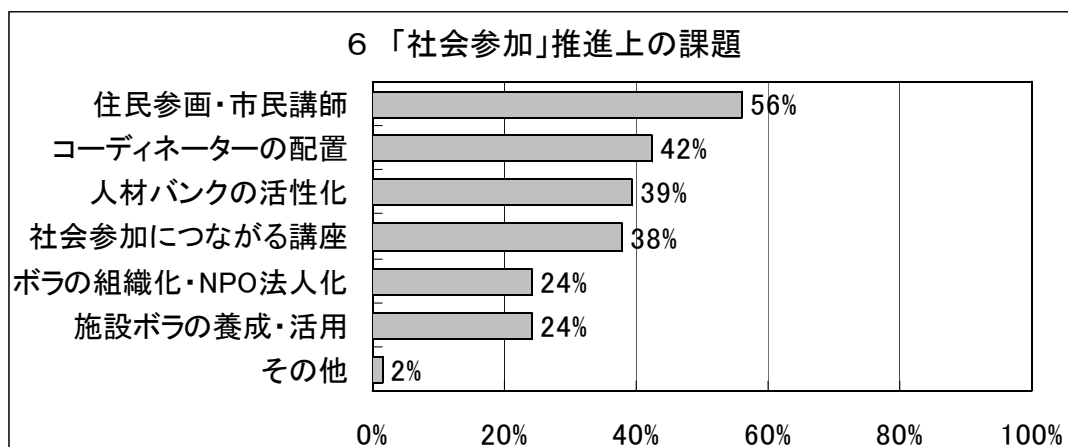
- 5 貴市町村教育委員会が青少年の「体験活動」を推進する上での課題は何ですか。
(複数回答可)



その他

- 中学生・高校生のボランティア

- 6 貴市町村教育委員会が住民の「社会参加」を推進する上での課題は何ですか。
(複数回答可)

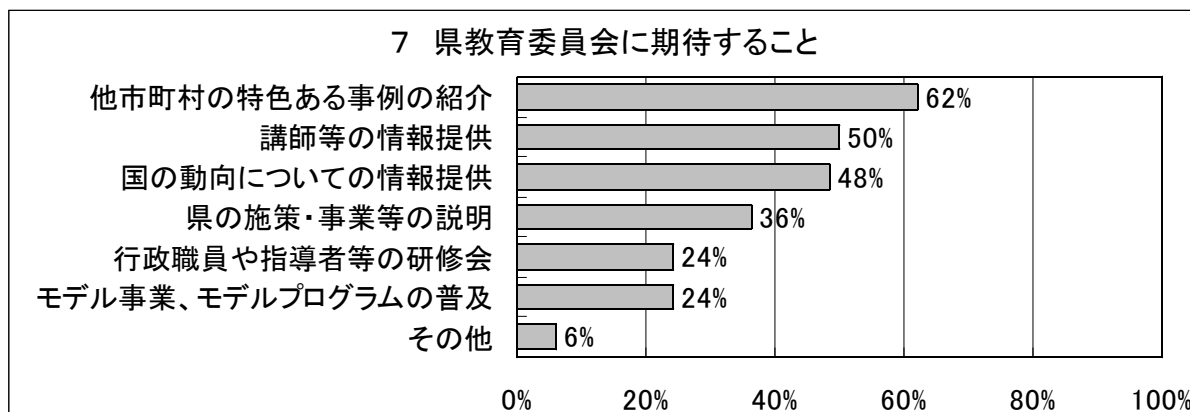


その他

- 人材バンクの設置
 ボランティア総合窓口の設置

7 県教育委員会（教育事務所・社会教育施設を含む）に期待することは何ですか

（複数回答可）



その他

- 国・県・市町村の連携による事業の推進（それぞれの方向を向いている）
- 各補助事業の恒久的継続

8 市町村合併をした市町村のみお答えください。市町合併に伴う課題は何ですか。

- 各市町村の事業の選択・統合
- 各市町村の事業の地域特性や伝統を活かすための調整
- 各市町村の社会教育行政に対する温度差（予算・体制）
- 各市町村の社会教育や公民館施策に関する理念・方針の違い
- 各市町村の公民館等の施設設備の違い
- 地域に残る伝統芸能や歴史的・文化的資産の保存・継承
- 各市町村住民の生涯学習活動への参加意欲の格差
- 多岐にわたる住民の学習ニーズや意欲に対応する生きがいつくりの場の提供
- 各市町村の社会教育関係団体の調整
- 各種団体の連合・統一
- 新しい生涯学習推進体制の整備
- 職員の考えの統一、職員の資質向上
- 市としての市民意識を育てる事が重要
 - それを阻害する行事等は廃止し、地方色を薄めることが必要
 - しかし、伝承すべき文化は特化して育成することが重要
- 地域が広がるので地域別の取組が重要である。
- 住民自治のまちづくりの推進
- 各市町村を一方向的に合わせようとすると反発を招く。方向性を定め緩やかに推進していく必要がある。
- 人員配置、予算確保
- 予算執行面での地域格差の解消

9 その他、生涯学習・社会教育の推進に当たり、ご意見等がございましたらお書きください。

○財源不足のため補助事業等を活用したい。

○補助事業について足かせが多すぎる

○補助事業について地方の実態に即した企画で実施できるようにしてほしい

(提案→審査→補助申請)

○補助事業について臨時・短期間ではなく、市町村の厳しい財政事情を勘案し、長期的視点に立ってほしい

○市町村では専門職員の定着が図られていない。個々の資質にゆだねられている。地域活動指導員は不可欠である。

○県に対して、国の動向や他市町村の事例等、生涯学習・社会教育に係る情報提供に期待している。

○行政・学校・地域が連携し、子どもとどう関わっていくかが問われている。

○新しい時代をたくましく生きる人材の育成